

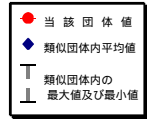
# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

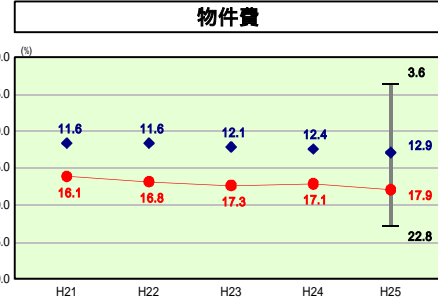
愛知県飛島村

## 経常収支比率の分析

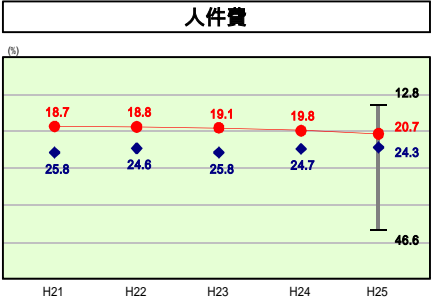
人口	4,609	人(H26.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	4,436	人(H26.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	22.53	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	1.7	%
歳入総額	5,176,953	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	4,747,162	千円	市町村類型	H21 - 2 H22 - 2 H23 - 2	
実質収支	263,953	千円	(年度毎)	H24 - 2 H25 - 2	
標準財政規模	4,296,095	千円			
地方債現在高	260,623	千円			



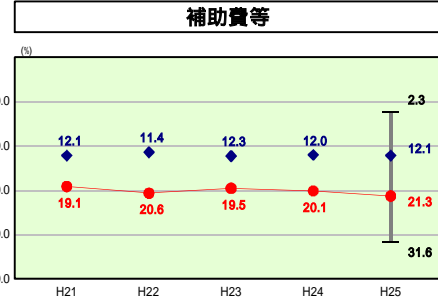
市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。



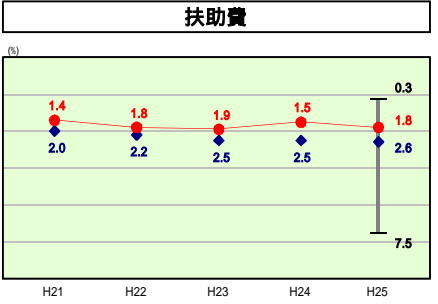
**物件費の分析値**  
物件費にかかる経常収支比率が類似団体と比較して高い数値で推移しているのは委託料によるところが大きいものです。これまで直営で行ってきた業務を外部委託したり、施設の維持管理にかかる業務委託が増加していることが委託料を押し上げている要因です。  
今後は、ファシリティマネジメントの考え方を導入して、すべての施設を統括的に管理し、維持管理費を計画的に予算計上することで、コスト削減と利用者の安全確保を両立していきます。



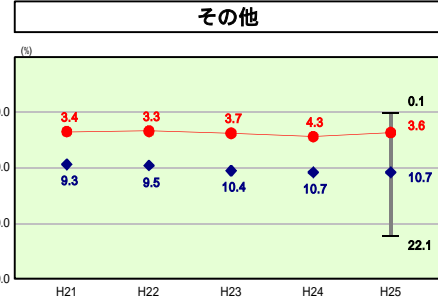
**人件費の分析値**  
類似団体と比較して低い数値で推移していますが、これは一般廃棄物処理業務や消防業務等を一部事務組合で行っているためです。これらの一部事務組合の人件費分に充てる負担金を加味した場合は、類似団体の平均値を上回りますので、今後はさらなる人件費の削減に努めます。



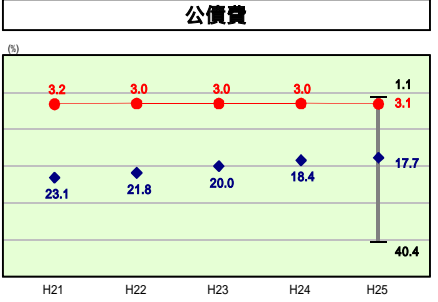
**補助費等の分析値**  
類似団体の平均値を上回る数値となっていますが、これは一般廃棄物処理業務や消防業務等を一部事務組合で行っているためです。一部事務組合負担金の人口1人当たり決算額を抑制していくことが、今後の行政課題です。  
また、各団体への補助金の見直しを進め、補助費の総額を圧縮するよう努めます。



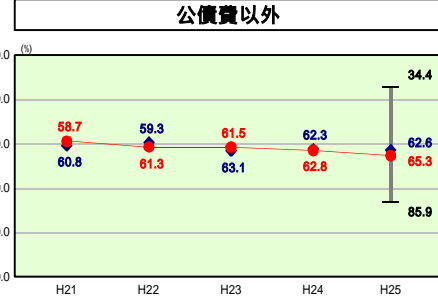
**扶助費の分析値**  
子ども医療費を拡充しながらも類似団体の平均値を下回る数値となっており、適正な状態と考えられます。  
今後も扶助費を必要とする住民には十分な配慮をしつつ、必要者に必要な扶助を行うことに努めます。



**その他の分析値**  
ここでの経常経費は、繰出金によるものです。その中でも国民健康保険特別会計への赤字補てんを目的とした繰出金が多くなっています。



**公債費の分析値**  
近年、新発債を抑制してきたことから、類似団体と比較しても、かなり低い数値で推移しています。  
また、下水道事業や一部事務組合の繰出金を含めた公債費に準ずる費用の人口1人当たりの歳出決算額についても類似団体を下回っています。  
今後も新発債をできる限り抑制し、将来世代の負担を軽減するよう努めます。



**公債費以外の分析値**  
概ね、類似団体の平均値と同水準で推移しており、今後の財政運営においてもさらなる経常経費の削減に努めます。